

## 神戸市外国語大学の学生と交流

- 1 目的： ZOOMを使って神戸市外国語大学を訪問し、大学の仕組みや研究内容について学ぶ。  
また生徒を17教室に分けて、ポスターセッションでの発表、および大学生による英語プログラムに参加することで、英語学習、国際時事問題に関心を高める。
- 2 対象： 48回生 2年1組（国際探求学科）38名
- 3 日時： 令和3年2月7日（日） 11:00～16:00
- 4 場所： 本校17教室⇄神戸市外国語大学（ZOOMによる交流）
- 5 内容：

12:00～12:10	オープニング
12:10～12:40	大学説明
12:50～13:50	探究発表（各班8分発表、10分質疑及び助言）
14:05～15:15	大学生との交流
15:20～	クロージング

当初は神戸市外国語大学を訪問し探究発表をする予定でしたが、コロナ緊急事態宣言中の活動なので、ZOOMを使った学校間の交流に変更しました。最初に企画広報担当から大学について歴史や学科の特徴などの説明を受けました。その後、探究活動の最終発表会を兼ねて、ZOOMを使って英語でのポスター発表を行いました。多くのポスター班が実際にインタビューや調査を基に考察を進めており、外大学生からも発表内容について英語による質の高い質問が何度も出ました。生徒は時には戸惑いながらも英語で受け答えをしようと努力しました。今回の自分たちの探究活動の理解をより深めることができました。

探究発表後は、神戸市外国語大学の学生による、英語のコミュニケーション活動に参加しました。約1時間の活動でしたが、学生生活・異文化体験・入試対策などのアドバイスを大学生から受け、生徒たちは「英語を使う楽しさ」を実感し、充実した一日となりました。

### 【生徒の感想】

- 最初は、外大学生を相手に交流するので、自分がしっかり質疑対応できるのか心配でしたが、ある学生の方が名指して良かったと褒めてくれたことで、今までより少し自信がついたと思います。
- リモートという形になり、大学に行けないのは残念だったけど、リモートだったからこそ大学生と1対2で話せたりできて、すごく充実した一日になりました。
- 探究発表では、アドバイスや良いところなどを教えてくれて参考になりました。交流会の時には、自分が目指している大学の学生に話を聞けるという、とても貴重な機会となり、非常に良かったです。
- 現役の大学生の方々とお話できる機会はなかなかないので、参考になることが聞けてよかったです。海外に行った感想とか聞いて、海外に行きたい気持ちが強くなりました。
- 探究の発表で、神戸市外大の方から質問された時、とても発音がよくて聞き取りやすく、自分もこんな風に話せるようになりたいと思いました。大学生と自己紹介し合うのは、楽しかったです。
- 英語で発表するのは難しかったです。質問されたことに答えるのも難しかったです。大学生の英語がすごかったです。スラスラしゃべっていて、びっくりしました。
- 発表が終わってから、バワポを作る上でたくさんのアドバイスをもらったのはとてもよかったです。

